

MIS-C 及び重症・中等症小児 COVID-19 全国調査の進捗状況報告
(第 1 報)

2023 年 1 月 12 日

2022 年 9 月に表題の全国調査の協力依頼文書を送付し、2023 年 1 月 12 日現在までに、MIS-C 66 例、MIS-C/SARS-CoV-2 感染を伴う川崎病 15 例、SARS-CoV-2 感染を伴う川崎病 34 例、中等・重症 COVID 129 例 のご報告を頂いた。

2022 年 12 月 26 日に、Zoom を利用して第一回中央診断を行った。

出席者は以下の通り；

松原大輔（自治医科大学）、中村好一（自治医科大学）、鮎澤衛（日本大学）、宮入烈（浜松医科大学）、森内浩幸（長崎大学）、勝田友博（聖マリアンナ医科大学）、関満（自治医科大学）、尾内善広（千葉大学）、三谷義英（三重大学）、濱田洋通（千葉大学）、多屋馨子（神奈川県衛生研究所）、松原優里（事務局；自治医科大学）

上記のうち、MIS-C 32 例について委員で検討した。うち、27 例が MIS-C と判定され、5 名は情報の追加確認の上、改めての検討が必要（判定保留）とされた。

主治医の先生方には、検討結果について後日報告し、今回検討した 32 例のデータについて、近日中に HP 上で公開させて頂く予定である。

また、調査票に関しても、今後若干の修正を加えていく方針である。

2023 年 1 月には、第 2 回の中央診断を開催する。

MIS-C、SARS-CoV-2 感染を伴う川崎病ともに、症例数の増加が見られている。

* これまでに、症例をご報告いただいた先生方のご協力に感謝申し上げます。今後も、新規の症例をご経験された場合には、是非とも症例の登録をお願い申し上げます。

自治医科大学小児科
松原大輔